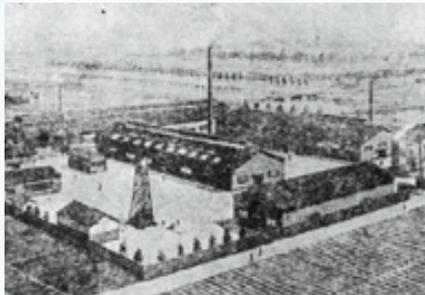


1919年創立

日工グループにおける価値創造の歴史

1919年、ショベルやスコップ、ツルハシ、建築用金物類の製造販売から始まった日工グループは、2025年8月で創立106年を迎えました。2025年度は中山知巳新社長のもと、新中期経営計画(2025年度-2027年度)がスタートしました。2030年ビジョンで掲げる目標売上高700億円、目標営業利益率10.0%、目標時価総額500億円の実現に向けて、新たな価値創造と事業拡大を目指します。



創業当時の本社工場



江井島工場

1990年～

多角化の推進とグループ経営の強化

- 1991年 ● 開発技術センターを新設
- 1994年 ● 幸手工場が完成
- 2000年 ● 海外事業部を発足
- 2001年 ● 日工(上海)工程機械有限公司を設立
- 2002年 ● (株)新潟鐵工所からアスファルトプラント部門を譲受
- 2004年 ● 初の海外生産拠点「日工(上海)工程機械有限公司嘉定工場」の竣工式
- 2006年 ● NIKKO (THAILAND) CO.,LTD.設立
- 2006年 ● 三菱重工業株式会社下関造船所からコンクリートポンプ事業を譲受
- 2008年 ● 株式会社前川工業所をグループ会社化

外部環境:環境に優しい製品ニーズが拡大

- 1994年 ● 関西国際空港が開港
- 1995年 ● 阪神淡路大震災
- 1997年 ● 京都議定書採択
- 2006年 ● 神戸空港、北九州空港開港
- 2008年 ● リーマン・ショック



日工上海

2010年～

攻めの経営へ転換

- 2011年 ● 山推日工建設機械有限公司武漢新工場完成
- 2012年 ● 西川貴久が代表取締役社長に就任
- 2012年 ● NIKKO (THAILAND) CO.,LTD.解散
- 2015年 ● ドイツ・KLEEMANN社の日本総代理店として活動開始
- 2015年 ● 山推日工建設機械有限公司から撤退
- 2018年 ● テクノセンター(明石)を新設
- 2018年 ● モバイルプラント事業部始動(現:破碎機関連事業)
- 2019年 ● 辻勝が代表取締役社長に就任
- 2019年 ● 創立100周年

外部環境:各種災害が甚大化

- 2010年 ● 中国・上海万博開催
- 2011年 ● 東日本大震災発生
- 2012年 ● 東京スカイツリー開業
- 2015年 ● 北陸新幹線(東京～金沢)開業
- 2015年 ● SDGs国連採択



CSC(カスタマーサポートセンター)

2022年～

新中期経営計画と2030年 ありたい姿の実現に向けて

- 2020年 ● Nikko Asia (Thailand) Co.,Ltd.設立
- 2020年 ● Nikko Niihkosol Co., Ltd.設立(現:Nikko Global Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd.(略称:GMT))
- 2022年 ● 宇部興機株式会社をグループ会社化
- 2023年 ● 株式会社松田機工をグループ会社化
- 2024年 ● 株式会社西日本不動産をグループ会社化
- 2025年 ● 中山知巳が代表取締役社長に就任
- 2025年 ● 新中期経営計画(2025年度-2027年度)発表
- 2025年 ● 株式会社藤原電機製作所をグループ会社化(現:日工藤原電機株式会社)
- 2030年 ● 2030年ビジョン(目標売上高700億円、目標営業利益率10%、目標時価総額500億円)

外部環境:ポストコロナ時代

- 2020年 ● 新型コロナウイルスがまん延
- 2021年 ● 東京オリンピック開催
- 2022年 ● ロシアがウクライナへ侵攻
- 2023年 ● 新型コロナウイルスが5類へ移行
- 2025年 ● 高輪ゲートウェイシティが開業
- 2025年 ● 大阪・関西万博



GMT

売上高及び営業利益の推移

